

2012年度(平成24年度)

事業計画書
収支予算書



財団法人キープ協会

(公益財団法人認可申請中)

目 次

◎ 目次	1
◎ 公益財団法人キープ協会の目的と事業	2
◎ 公益財団法人キープ協会の環境方針	3
◎ 2012年度事業計画・予算計画の基本方針	4
◎ 事業・組織体系図	6
◎ 公益財団法人キープ協会の事業計画(事業部門別)	
I. 環境教育事業部	7
II. 酪農事業部	12
III. 研修交流事業部	13
IV. 国際地域事業部	15
V. 保育事業部(清里聖ヨハネ保育園)	20
VI. 製販事業部	21
VII. 管理本部(ランドスケープPJT室)	22
VIII. 清里聖アンデレ教会	23
◎ 公益財団法人キープ協会の収支予算	24

この法人は、キリスト教の精神に基づき、創設者ポール・ラッシュの理想と精神を継承して、環境教育と高冷地農業の実践を通し、青少年教育、国際交流、地域協働を進展させて、広く、持続可能な未来を志向する健康と学び、交流の場を国内外の青少年、また市民に提供し、社会文化の向上と世界平和に寄与することを目的とする。

(定款：第3条より) …認可申請中

■公益財団法人キープ協会は、上記の目的を達成するために次の事業を行います。(定款：第4条)

認可申請中

- (1) 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業
- (2) 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業
- (3) 青少年及び家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動、講習・研修活動・合宿活動に関する事業
- (4) 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業
- (5) 幼児の育成と子育てに関する事業
- (6) 様々な主体との協働による地域社会の活性化とスポーツ振興に関する事業
- (7) 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売
- (8) その他目的を達成するために必要な事業



公益財団法人キープ協会の環境方針

<基本理念>

公益財団法人キープ協会は、日照時間日本一の地域に位置し、おいしい水と澄んだ空気、4つの国立公園・国定公園に囲まれた豊かな自然と、南に富士山、北に八ヶ岳をはじめとする日本百名山の八峰を望み、森や牧草地が織りなすすばらしい景観に恵まれています。この自然環境が事業活動の基盤をなしているとの認識に立ち「自然との共生」を当協会の基本姿勢とします。創設者ポール・ラッシュ博士の理想と精神を継承・発展させ、かけがえのない自然環境を次世代に引継ぎ、またその担い手を育成していきます。

<行動指針>

1. 当協会は、環境教育に代表される、環境や社会に対し有益な活動を核とした実践・提案型の事業を積極的に展開します。
2. 当協会は、事業活動による環境への有害な影響を排除・低減するためのマネジメントを行います。
3. 当協会は、上記1. 2. を事業活動の中で有効かつ継続的に改善します。
4. 当協会は、環境に関する法律および当協会が同意するその他のきまりごとを順守します。
5. 当協会のために働くすべての人がこの方針を理解し、環境への意識を高め、持続可能な社会のモデルケースとなるような活動を推進することによって、生態系・国際社会・地域社会との共存共栄を図ります。

財団法人キープ協会
理事長 茅野 徹郎

KEEPの環境マネジメントシステムがJIS Q 14001:2004/
ISO14001:2004の規格に適合していることが認められ、
2005年12月9日、ISO14001登録証が発行されました。

2012年度(平成24年度)事業計画ならびに予算編成の基本方針

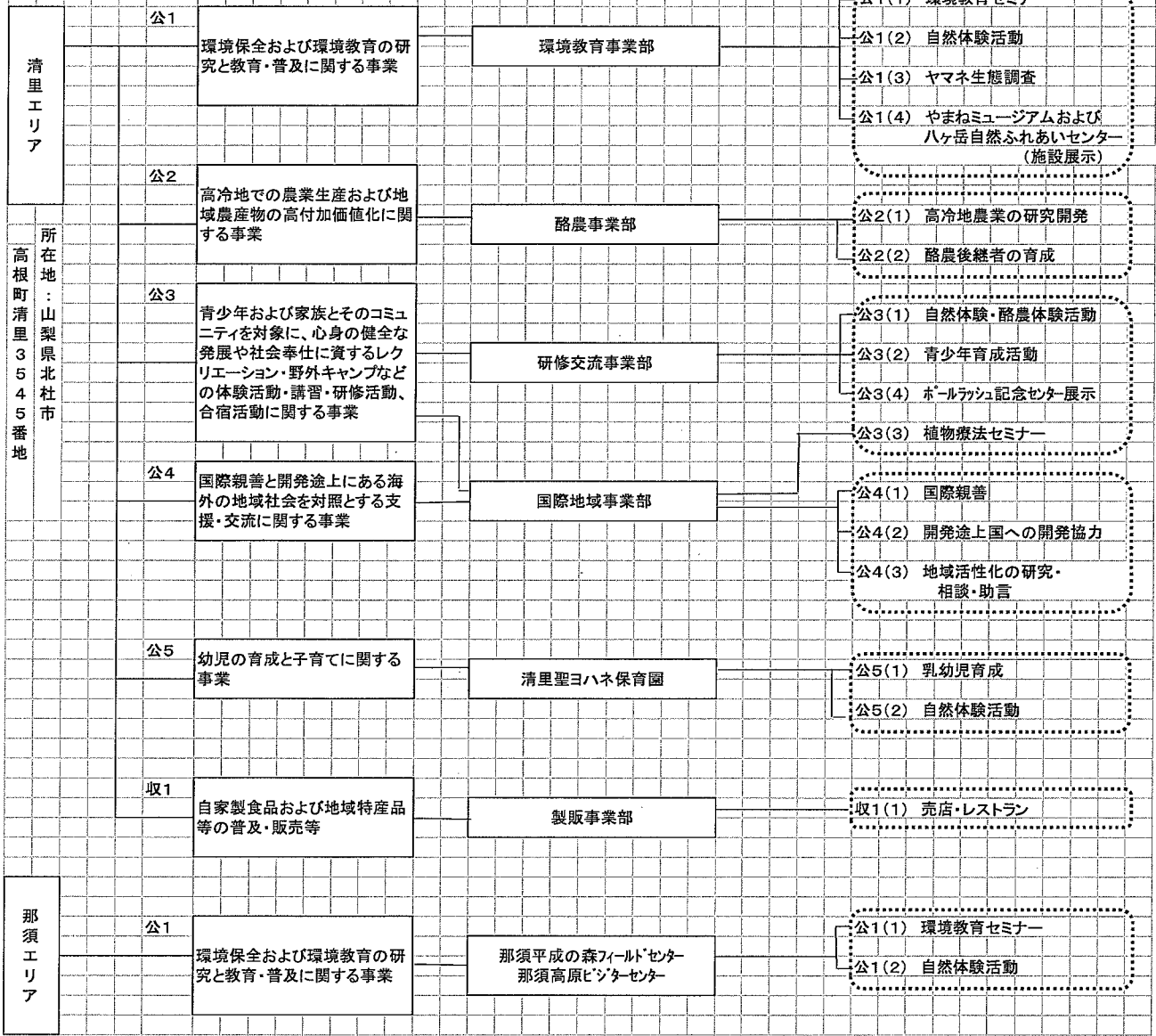
本年度は、「公益財団法人キープ協会」として、以下の基本方針による積極的な事業展開を実施していく中で、創設者ポール・ラッシュ博士の理念・精神に基づいて、あるべき将来像を見据えた中長期計画の見直しに着手し、公益法人運営の安定強化を図ってまいります。

1. 「公益財団法人」としての法人運営に万全を期します。
2. 「教育」と「研究」を柱とする環境教育事業を一層推進します。
 - (1) やまねミュージアム、フォレストーズ・スクールの多彩な事業展開を行います。
 - (2) 山梨県立「八ヶ岳自然ふれあいセンター」の管理運営を行います。
 - (3) 環境省「那須平成の森」(委託2年目)の委託管理運営業務を行います。
3. 「生産」「実験」「教育」を柱とするキープ農場事業を一層推進します。
 - (1) 有機JAS認定を受けた「ジャージー牛乳」の安定生産に努めます。
 - (2) 循環型社会のモデルとなる「実験酪農」をさらに追及します。
 - (3) 酪農体験を主とする「教育体験プログラム」を実施します。
 - (4) 地域農産物の高付加価値化を目的とする乳製品等の加工製造に関する試作に取り組みます。
4. 体験・研修・合宿の場として、青少年教育および家族をはじめとする様々なコミュニティに広く提供します。
 - (1) 積極的に青少年団体・教育団体等を誘致し、体験プログラムを中心とした滞在を提案します。
 - (2) 青少年をはじめ、家族や小グループなどが有効に活用できる研修センターとしての施設作りを推進します。
5. 国際協力事業や地域連携事業への取り組みを行います。
 - (1) キープ米国後援会(ACK)との協働によるプロジェクトの推進に努めます。
 - (2) 「ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2012」の主体的運営を行います。
 - (3) 八ヶ岳南麓や清里ブランドの向上に寄与するための地域連携イベントに協力します。
6. 幼児の主体性・感性を大切に育み、キリスト教精神に基づく「保育」の場を提供します。
 - (1) 一人ひとりを祝福する保育を使命とする「清里聖ヨハネ保育園」を運営します。

- (2) 新園舎建設委員会による2013年度中の園舎完成を目指して準備を進めます。
また、そのための募金活動をスタートさせます。
7. 収益事業部門においては、現場の生産性を向上させ公益財団法人としての健全経営を支えます。
 - (1) 生産・加工・販売の一貫体制による「いちばん美しい農場」プロジェクトを推進し、乳製品を中心にした商品の紹介・提供を行います。
8. 公益事業・収益事業ともに生産性を高め、役職員一丸となって予算の必達を図ります。
 - (1) 定期的な収支状況の把握と、キャッシュフロー計算書等による財務管理をしっかりと行い、公益財団法人として安定・信頼できる経営に努力します。
9. キープ協会の「環境」への取り組みを広く一般にアピールします。
 - (1) ISO14001認証継続と、循環型社会の実現に向けてのキープの環境への取り組みを紹介し広報します。
10. 清潔で快適な施設の提供を心がけ、必要な施設整備を行います。
 - (1) 使用頻度の低い施設の有効活用を図り、施設・設備の点検整備の徹底を心がけます。
 - (2) 危険箇所や自然災害などを予測した施設整備を計画します。
 - (3) ランドスケープ・プロジェクトによるキープ敷地全体の総合的な維持管理計画を推進します。
 - (4) 電気代・燃料費などのコスト削減に努力するとともに、循環型社会の実現を目指して、次世代エネルギーの導入を研究します。
11. 職員の資質の向上と、必要な研修を実施します。
 - (1) 職員全員が、キープ協会の設立運営理念や歴史的経緯の理解に努めます。
 - (2) 資質向上のための職員研修を積極的に実施します。
 - (3) 防災・救急など、施設として必要な研修・訓練を計画的に実施します。
12. 将来の持続的な法人運営に備えた準備をします。
 - (1) KEEP FOR THE FUTURE（中長期計画）の見直しをする委員会を立ち上げます。
 - (2) FD委員会（募金活動推進委員会）を立ち上げます。

事業・組織体系図

財団法人キープ協会



所在地： 栃木県那須郡
那須町高久丙3254番地

財団法人キープ協会の事業(事業部門別)

I. 環境教育事業部

(清里エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動
- (3) ヤマネ生態調査
- (4) やまねミュージアムおよび八ヶ岳自然ふれあいセンター (施設展示)

(那須エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動

環境教育事業部は、「教育」と「研究」を両輪として4セクションが連携しながら各種事業に取り組みます。子どもからシニア世代までを対象とした教育は、市民・学校・企業・行政など多様なセクターと協働し展開します。研究はヤマネ研究を通じた環境保全研究と良質な教育を提供するための環境教育研究とが柱となります。

1. やまねミュージアム＝環境保全研究事業

(1) キープやまねミュージアムの役割

- ① 今年度25年目を迎える、ヤマネの総合的な研究のさらなる推進
- ② ヤマネ保護と環境保全研究の提案ならびに、
ヤマネの視点からの森林生物多様性保全
- ③ 研究成果を活かした環境教育の普及

(2) 2012年度の重点目標

- ① 25年間に及ぶヤマネ研究成果の論文化を含めた社会への発信
- ② アニマルパスウェイの国内への普及と開発
- ③ 25年間の研究を土台にした研究のステップアップ

(3) 2012年度の事業計画

- ① ヤマネの総合的な研究の推進
 - a. 生態学的研究：日本とハンガリーでの研究
 - b. 食べ物の研究：安定同位体等を用いた研究（京都大学と連携）
 - c. 生理学的研究：冬眠生理等の研究（宮崎大学、関西大学と連携）
 - d. 行動学的研究：繁殖行動や人工繁殖

- e. 遺伝学的研究：社会性から系統進化の研究（北海道大学と連携）
- f. 形態学的研究：内臓・骨・筋肉の研究（宮崎大学と連携）
- g. 文化的研究：民俗学的研究
- h. ヤマネを通じた自然環境変化のモニタリング
- ② ヤマネ保護と環境保全研究の提案
 - 研究を踏まえ、ヤマネ保護・環境保全研究の提案を行います。
 - a. アニマルパスウェイ（ヤマネブリッジ）の共同研究と普及
 - b. 森林開発に対する森林保全の提案
 - c. 林野行政への提案
 - d. 学会発表や論文及び多様な媒体を用い、成果を世界に情報発信
- ③ 研究成果を活かした環境教育の普及
 - 「やまね学校」、やまねミュージアムの展示等を通して
 - ヤマネ研究及び環境保全研究の成果を環境教育として実践します。
- ④ 「やまねミュージアム」の管理運営
 - a. 研究成果を活かした効果的な展示
 - b. ヤマネ企画展の開催
 - c. ヤマネ関係の生物・文化・民族関係の物品の収蔵
 - d. お客様満足度を高めるような工夫
 - e. ヤマネに関するグッズ開発

(4) 開館時間及び休館日

- ① 開館時間 10：00～16：00（8月は、9：30～16：30）
- ② 休館日 毎週月火曜日（年末年始、夏休み期間、祭日、GWは無休）

2. フォレスターズ・スクール＝環境教育指導者養成・普及事業

(1) キープ・フォレスターズ・スクールの役割

- ① 環境教育プログラムの提供（主催事業・受託事業）
- ② 環境教育プログラムの研究・開発
- ③ 環境教育ネットワークの支援
- ④ 「インタープリター」の役割の普及

(2) 2012年度の重点目標

- ① エネルギー環境教育への取り組み
- ② 地域と協働した環境教育プログラム開発と実践
- ③ 環境教育事業30周年（2013年度）に向けて、これまでの実践を整理する

(3) 主催事業

「実験」「協働」をキーワードに魅力的なプログラムを開発・実施します。

① 対象

個人および家族

② 実施予定プログラム

清里エコロジーキャンプ、清里インタープリターズキャンプ、やまね学校、
森療時間 他

③ 留意点

定員充足率の維持およびUP、受託事業への展開

(4) 受託事業

依頼者のニーズに合わせて環境教育プログラムを提供します。

① 対象

学校・企業・行政などの各種団体

② 内容

自然体験型環境教育プログラム、環境教育指導者養成プログラム、講演 など

③ 留意点

PRの強化、新たなマーケット開拓

(5) 指導教育

① 職員を対象にした指導教育

② 実習生・新人職員を対象にした指導教育

③ 研修生・インターンの受入れ

3. ～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター（指定管理事業）

2012年度は第二期指定管理委託の4年目を迎えます。「山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター設置及び管理条例」の趣旨に基づき、管理事業に取り組みます。

❖ 八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献する。

(1) 2012年度のテーマと事業内容

① 2012年度のテーマ

自然とエネルギー

- ② 事業計画の柱
 - a. 自然情報を提供するビジターセンターとしての役割を果たします。
 - b. 「自然とエネルギー」というテーマに沿って活動を行います。
- ③ 具体的な事業内容
 - a. 施設展示(随時更新)、プログラム(1～2プログラム程度)の開発
 - b. 自主企画事業の実施 (1回)
 - c. 自然資料収集のための調査
 - d. 教材開発
 - e. 地域の拠点施設としての活動 (施設利用の呼びかけと学習支援)
 - f. 周辺の文化施設(博物館・美術館)、地域にあるネットワークとの連携
 - g. 自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理

(2) 開館時間及び休館日

- ① 開館時間

1～2月、11～12月	9：00～16：00
3～6月、10月	9：00～17：00
7～9月	9：00～18：00
- ② 休館日 毎週火曜日 (年末年始、夏休み期間、祭日、GWは無休)

4. 環境省 日光国立公園

「那須平成の森」および「那須高原ビジターセンター」運営管理業務

2011年度は立ち上げの年となりましたが、2012年度は運営管理の2年目の年となり、プログラム、展示、地域との連携をより充実させていきます。

(1) 業務内容

- ① 那須平成の森
 - a. フィールドセンター運営
 - b. 「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、その他の事業のプログラム開発と実施
 - c. 環境教育指導者養成事業の実施を検討
 - d. 屋内外の展示制作
 - e. 公園の環境管理
 - f. 「那須平成の森基金」の事務局運営
- ② 那須高原ビジターセンター
 - a. ビジターセンター運営
 - b. 那須甲子地域との連携事業

(2) 開館時間及び休館日

① 那須平成の森

- | | | |
|---------|-------|-----------------|
| a. 開館時間 | 4～11月 | 9：00～17：00 |
| | 12～3月 | 9：30～16：30 |
| b. 休館日 | 4～11月 | 無休 |
| | 12～3月 | 水曜日休館(祝日の場合は翌日) |

② 那須高原ビジターセンター

- | | | |
|---------|-------|-----------------|
| a. 開館時間 | 4～11月 | 8：30～17：30 |
| | 12～3月 | 9：00～16：30 |
| b. 休館日 | 4～11月 | 無休 |
| | 12～3月 | 水曜日休館(祝日の場合は翌日) |

5. 環境研究所

環境教育事業部の柱の1つとして、事業部横断的に活動を行います。

(1) 環境保全研究

主にやまねミュージアムが担います。

(2) 環境教育研究

- ① 環境教育実践の整理・研究
- ② キープ協会全体の教育活動の整理・研究
- ③ 指導教育に関する研究

6. 地域との環境教育事業

(1) 地域との環境教育事業

- ① 八ヶ岳田んぼの学校
- ② 清里こども自然クラブ
- ③ 地域の学校教育への協力

(2) 構成員としての関わり

- ① 北杜市内各種ネットワークへの参画
- ② 山梨県内各種ネットワークへの参画

II. 酪農事業部

(清里エリア・公2) 高冷地での農業生産および地域農産物の高付加価値化に関する事業

- (1) 高冷地農業の研究開発
- (2) 酪農後継者の育成

1 生産農場として

- (1) 2012年度の搾乳頭数は平均60頭とし、年間牛乳生産量は、194,390kgを目標とします。また日常管理の徹底を行うことによって、安全、安心な牛乳の生産に努めます。
飼育総頭120～130頭（内訳、成牛90、育成牛30、仔牛10）
- (2) 繁殖牛や肥育した雄仔牛の売却を行います。
- (3) 衛生的な施設を維持し、有機飼料の給餌に努めます。

2. 実験農場として

- (1) 高原農業の一環として有機野菜の栽培に努めます。
- (2) 牧草地を再編し効率のよい作業化に努めます。
- (3) 引き続き、生ゴミを堆肥化し、資源を有効利用いたします。

3. 教育農場として

- (1) 後継者育成及び学習の場として、短期及び長期実習生、日本大学、麻布大学等の実習生を受け入れます。
- (2) 年間を通した酪農体験プログラムを充実いたします。
- (3) 山梨県畜産課に協力します。山梨県草地協会、日本草地畜産種子協会、中央畜産会からの依頼による体験プログラムを受け入れます。

4. 補助金に関して

- (1) 継続事業（酪農環境負担軽減支援事業）中央酪農会議、山梨県畜産課
- (2) 農業作物助成事業 山梨県畜産課、山梨草地協会、山梨県農業改良普及所

Ⅲ. 研修交流事業部

(清里エリア・公3) 青少年および家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動・講習・研修活動・合宿活動に関する事業

- (1) 自然体験。酪農体験活動
- (2) 青少年育成活動
- (4) ポール・ラッシュ記念センター（施設展示）

2012年度は、青少年育成・指導者養成・健康増進・幼老福祉・地域振興を目的とした体験活動・講習・研修活動・合宿活動を推進します。

- (1) ポール・ラッシュ博士の理想と精神を伝えること
- (2) 地域のランドマークとして地域の活性化に貢献すること

1. 国際研修交流センター・清泉寮新館

(1) 教育旅行の提案と受け入れ

内外の学校・教育団体等に自然体験・酪農体験・食育を主とした体験活動中心の教育旅行を提案し受け入れます。自然体験は環境教育事業部、酪農体験は酪農事業部、食育は地域農業者との協力により提供します。

(2) 体験活動の提供

日常的に、自然体験・野鳥観察・星空観望会・アロマセラピー・農場での酪農体験等の体験プログラムを提供します。また、なかでも希望者の多い「野鳥観察」は季節のプログラムとして広く体験希望者を募集します。

(3) 施設の貸与

地域で講演会・研修会・音楽会等を企画する団体・個人に、ホールと音響設備を貸し出します。

2. キープ自然学校

(1) 内外の学校・教育団体等に自然体験と酪農体験を主とした体験活動中心の教育旅行を提案し活用していただきます。

(2) 幼児とその家族対象の「森のようちえん」、小学生対象の「やまもりキャンプ」、家族単位で参加する「自然学校応援し隊」「フクロウ・ウォッチング」等の参加者募集型のプログラムを、年間通じて主催します。

(3) 「森のようちえん」は宿泊型体験活動として開始し、年間延べ1,000名の参加者を受け入れます。写真展・写真集の出版・森のようちえん全国フォーラムの波及など、社会的に大きな反響を呼んでおり、自然学校でプロジェクト事務局を担当します。

- (4) 保育園の保護者対象の子育てサロン「おでん」を、地域に対する子育て支援活動として毎月地域の保護者を対象に、気軽に集まって子育て談義のできる「場」として提供します。

3. ユースキャンプ場・フォレストーズキャンプ場でのプログラム

- (1) 国際地域事業部および環境教育事業部が企画実施する宿泊型プログラムを実行します。
- (2) 内外の学校・教育団体等に自然体験と酪農体験を主とした体験活動中心の教育旅行を提案し活用します。

4. 博物館「ポール・ラッシュ記念センター」の設置運営

- (1) 年間通じての開館と、入館者数は10,000人以上を目指します。
- (2) 常設展「ポール・ラッシュ博士の精神と業績展」、日本アメリカンフットボールの殿堂（写真パネル・博士の遺品・書簡・当時のままの執務室等を展示します）

5. 東日本大震災被災者支援活動

- (1) 2011年度に「震災後の日本の復興のためにコミュニティを再生するユースリーダーの養成」を目的に、キープと米国の The Berkana Institute 等が中心になって、5月・8月・9月・11月に3日間の合宿「ユースコミュニティダイアログ」を清泉寮で開催したことを受けて、福島子どもサマーキャンプ、ブラストビート福島などの被災地支援活動を実行するプロジェクトチームが生まれ、2012年度もこの合宿を継続して行い、全国に500名のユースリーダーの育成を目標とします。

6. 一般来訪者向けの食堂等での事業（収益事業に区分）

- (1) 一般来訪者への昼食の提供（清泉寮本館レストラン）
- (2) 地域住民等の要望に応えての結婚披露宴等の宴会受け入れ
- (3) 合宿利用者の利便性を図るための売店営業（清泉寮新館・キープ自然学校・ポール・ラッシュ記念センター）

IV. 国際地域事業部

(清里エリア・公3) 青少年および家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動・講習・研修活動・合宿活動に関する事業

(3) 植物療法セミナー

(清里エリア・公4) 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業

(1) 国際親善

(2) 開発途上国への開発協力

(3) 地域活性化の研究・相談・助言

2012年度のキープ協会には、公益目的事業の質量の充実が求められます。上位目的に「持続可能な未来づくり」を置き、その目的が、実際に「見える」「聞こえる」「触れる」「参加できる」ように、事業部の全員が各自の知見・体力・情熱・資源を絡ませ合い、「国際」「開発」「体験」をつなげていき、新しい体制・枠組みに相応しい国際地域事業での仕事を向上させていきたいと思えます。

1. 国際 International Relations

(1) ケンタッキー州マディソン郡姉妹地域交流

2012年度は、5月の北杜市訪問団（渡米）、夏の中学生ホームステイ交流（来日）、10月のマディソン郡代表団の受入にあたります。また、ポール・ラッシュ博士を記念しての「日米少年少女交流基金」を提案したいと思えます。

(2) 緑の募金・国際緑化公募事業

国土緑化推進機構助成事業。フィリピンのベンゲット州ブギアスにおける水源共有林の再生・保護事業を現地 NGO の Cordillera Green Network（以下、CGN という）との協働で行ないます。

(3) 絆プロジェクト

NPO 法人ピース・フィールド・ジャパンが行うイスラエル・パレスチナ・日本の青年平和交流キャンプ事業に次の内容で協力します。

- ① 8月来日時の KEEP でのキャンプ（3泊4日）およびプログラム提供。
- ② 国内移動にかかるバス借上げ費用の支援（キープ日本後援会助成金による）。
- ③ 国内および ACK の協力を得て、米国での募金活動。

(4) ACK（キープ米国後援会）との協働事業

① 聖公会三教区青年交流プロジェクト”Triangle Project（注①）”

2012年は日本で、2013年度はフィリピンで、2014年度は米国で三教区の青年が

協力してボランティア活動を行なう計画です。KEEP は、横浜教区協働主事会に設けられるプロジェクトチーム(委員会)に参画します。

② Tulgao Partnership を TITUS (注②) 管区プロジェクトに発展させる。

KEEP・ACK「国際パートナーシップのワーキング・グループ」では、ツルガオ・プロジェクトの今後について現地調査を踏まえて検討することとしました。

EDNP (聖公会北フィリピン教区) のブレント・アラワス主教による、KEEP が 1988 年以来取り組んできたフィリピン農山村援助交流事業を発展させて、ツルガオを含む地域一帯のコミュニティの連合体 TITUS を対象としたプロジェクトに拡大するという構想に協力します。

③ ACK リエゾン業務 (注③)

a. 2012 年 7 月インディアナポリスでの米国聖公会コンベンションへの協力。

b. KEEP・ACK の Visitors Committee に提案できる米国発ツアープランの立案。

c. 昨年の合同会議で合意された Brian Kane Fellowship (以後 BKF という) の KEEP 側の事務局。(KEEP 職員の英語教育や ACK との協働事業等、国際に関する業務等を主務とする BKF の採用)

d. 2011 年 10 月の ACK 理事会で発案された「健康と環境をテーマにした国際会議」構想の検討。

(5) Cordillera Green Network (注④) との連携

①コーディリエラ山岳地方の環境保全

②環境負荷の少ない方法による先住民族の生活改善

③山岳地方の環境保全活動を行うグループ、市民団体、NGO のネットワーク作り

(6) Tanzania 大使館、国立公園局、関係 NPO 等との連携

①Tanzania 研修生受入

9 月から 10 月の 1 ヶ月間、タンザニア国立公園局職員の「エコツーリズムによる地域振興」を主テーマとした研修の受け入れ。

②ポール・ラッシュ祭への招待

タンザニア大使館や関係 NPO 等をポール・ラッシュ祭へ招待。

③宿泊型プログラム

大使館・関係 NPO 等の協力を得て、国際理解・交流の宿泊型プログラムの主催。

2. 開 発 Development

(1) 教育旅行の提案・受付

(2) 大型団体等アテンド

(3) 山梨県観光部・やまなし観光推進機構との連携

- ① インバウンド
- ② MICE 部会 (注⑤)
- (4) エシカル・ツーリズムへの試み (注⑥)
 - ① 教育旅行コンテンツのエシカル度アップ
 - ② 個人向けボランティア・ツアー等

3. 体 験 Experience

- (1) Art of Hosting、ダイアログからフューチャーセンターへ (注⑦)
 - ① ワークプレイスの整備(キャンプ場の IT 環境)
 - ② 内部啓発
 - ③ ユースコミュニティリーダー育成プロジェクトの継続
 - ④ 八ヶ岳地域フューチャーセンター・清里農村センター
- (2) ヘルス・ツーリズム
 - ① 映画「西の魔女が死んだ」お婆ちゃんの家を活用
 - ② 植物療法ネットワークの新たな枠組みによる継続
 - ③ アロマセラピー体験の提供

4. 地 域 Community Development

- (1) ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～
 - ① 2012年度の日程・・・10月13日(土)～14日(日)
 - ② 2013年度は、ポール・ラッシュ博士来清75周年を記念して準備
・・・10月19日(土)～20日(日)
- (2) 北杜市長期滞在型リトリートの杜事業コンソーシアムとの連携
 - ① ハナジョブ・イノベーションラボ事業 (注⑧)
 - ② 主催キャンプの協働運営
 - ③ 教育旅行誘致
- (3) 地域農業者との連携
 - ① 清里朝ねぼう市
 - ② 地域支援型農業のフィージビリティ調査
 - ③ 6次産業化支援事業へのエントリーに関する調査
加工施設、販売施設の新設・更新事業の資金としての可能性あり。

(4) 良い食品づくりの会

- ① 第9回良い食品博覧会・・・5月26日(土)～27日(日)
- ② 月例勉強会・フォーラム

(5) 恋人の聖地

- ① 「森の結婚式」PRに活用
- ② モニュメントの設置場所等について再考

5. その他の事業

(1) キャンプ場の運営管理

- ① 予約、運営（宿泊・会場手配、食育、プログラム）、
- ② 顧客管理、施設管理、森の結婚式

(2) 東日本大震災復興支援活動

- ① 「ユースコミュニティリーダー育成プロジェクト」の継続
- ② 聖公会三教区青年交流プロジェクト”Triangle Project”として支援協力
- ③ 日本聖公会「いっしょに歩こうプロジェクト」への参画等（前項との関係で調査検討の要あり）

(3) ボランティア

(4) 資金開拓

① 補助金・助成金

「国際」「開発」「体験」「地域」「キャンプ場」「復興支援」「ボランティア」それぞれの事業・活動を進めていくうえでの補助金・助成金の活用。

② 寄付金

- a. 日本ファンドレイジング協会によるファンドレイザー養成講座への参画
- b. 寄付をお願いする事業とお願いする文脈等の研究
- c. 寄付金受付、寄付者顕彰等の仕組みの研究
- d. 寄付をお願いする WEB PAGE の開設

(5) 事務局

- ① ポール・ラッシュの会
- ② キープ日本後援会
- ③ 新会員組織

2012年度の一年間をかけて「ポール・ラッシュの会」と「キープ日本後援会」を、公益財団法人への移行に合わせて、清里農業学校 OB 会と統合のうえ、新たな会員組織としてリセットし、75周年記念事業の目玉として2013年度に新規発足させることを検討します。（発起人会・組織・役員・会則等）

用語の解説

- 注① **トライアングル・プロジェクト**：米国聖公会ステイシー・ソウルズ主教、フィリピン聖公会北フィリピン教区（以後、EDNP という）ブレント・アラワス主教、日本聖公会横浜教区三鍋裕主教の発意による 2012 年から 2014 年までの 3 年間に渡る三教区の青年交流事業。3 つの組織が対等に関わるためトライアングル・プロジェクトと名付けられました。
- 注② **T I T U S**：EDNP の TITUS 管区。TI はツルガオも入っているカリンガ州南部ティンガラヤン地区、TU はマウンテン州北部のトクカンと S のサバンガン地区
- 注③ **リエゾン**：「仲介、つなぎ、橋渡し」等の意のフランス語。産学連携の場では、大学と企業の橋渡しをして共同研究のプロジェクトの構築を行い、事業につなげることを表しています。
- 注④ **コーディネエラ・グリーン・ネットワーク**：フィリピンのルソン島北部のコーディネエラといわれる山岳地方の中心・バギオ市に拠点を置く環境 NGO です。山岳地方の先住民族の生活改善のために働きたいという熱意あるフィリピン人と、山岳地方の暮らしの改善には環境保全が大切だと考えた日本人によって、2001 年にフィリピンの法律によって非政府団体（NGO）として法人登録し活動を始めました。先住民たちが森林をはじめとする豊かな自然資源を自分たちの手によって維持し、自然と共生した持続可能な暮らしを実現するためのお手伝いをしています。
- 注⑤ **M I C E**：(M) Meeting、(I) Incentive、(C) Convention、(E) Exhibition の 4 つのビジネス・セグメントの頭文字をとった造語です。従来“コンベンション”が歴史的に幅広く使われて来たので、コンベンション業界を統括して表現する言葉などとの説明もありますが、4 つの違ったセグメントは同等に大切であると解釈したほうが、今後のそれぞれのビジネスの発展には必要です。さらに、大型の国際会議団体という解釈もありますが、少数の企業会議でもミーティング、料飲、宿泊が伴えば、立派な MICE のグループであると考えたほうが、将来 MICE ビジネスの健全な発展を考える上では正しいでしょう。
- 注⑥ **エシカル**：本来、エシカル (ethical) という言葉は「道德上の」とか「倫理的な」などを意味する形容詞。ところが近年、この言葉が、英語圏において少し踏み込んだ意味を持つようになりました。環境や社会に配慮している様子を表すといえます。
- 注⑦ **フューチャーセンター**：多様な人びとが集まり、協力的で創造的な「よい対話」をするための「専用空間」。持ちこまれた複雑な課題に対して、「未来のステークホルダー」を集め、オープンに対話し、共有可能な理想像を描き出します。企業にフューチャーセンターがあれば、組織の壁や企業の壁を超えたイノベーション発想に変わります。都市や街にフューチャーセンターがあれば、街づくりが参加型に変わります。フューチャーセンターは「未来志向で対話するための場」で、「五感を刺激する新しい経験ができる」「複雑な問題が解ける可能性がある」「多様な人と安心して対話ができる」という期待感を持って人びとが集まります。ここに来れば、組織の壁に阻まれた人たちであっても、人と人のつながりを意識し、対話を始める。そのような「場のパワー」を誰もが感じるところです。
- 注⑧ **ハナジョブ・イノベーションラボ (ハナラボ)**：女子学生が社会課題の解決に挑むプロジェクト。ハナジョブ・イノベーションラボでは、ワークショップを通して「女子学生が社会や組織を変革する力」を身につけることを目指しています。日本にも様々な社会課題が存在します。少子高齢化、過疎化、食料自給率の低下、いじめ、自殺・・・あげればキリがありません。ハナラボでは、毎回一つの社会課題をテーマに、その背後にある原因を探り、解決に繋がるアイデアをカタチにしていきます。

V. 保育事業部（清里聖ヨハネ保育園）

（清里エリア・公5）幼児の育成と子育てに関する事業

- （1）乳幼児育成
- （2）自然体験活動

キリスト教の精神に基づき、「一人ひとりを祝福する保育」を使命とし、神様の愛とやさしさ、思いやりの心・自然体験・国際感覚を柱として、特に幼児の主体性を大切にし、豊かな感性を育むことを心がけ、その環境づくりに努力します。

1. 異年齢児保育の継続

- （1）縦割り保育を積極的に取り入れ、異年齢児がお互いによい刺激を受けて、共に喜び、互いに受け入れあう心を育みます。

2. 自然学校・森のようちえん♪プロジェクトとの連携

- （1）自然体験・森の日を通して清里の自然を通して五感を育む。日常の保育の中で自然に子どもたちが親しみ、豊かな感性と自然を大切にする心を育みます。

3. 環境教育・国際理解プログラム

- （1）平和を大切にする心を育むため、また、日本の伝統や文化を大切にする心を育むため「ワールドプログラム」を行います。日常の保育の中でも保育士が世界の出来事等を子どもたちに理解できるよう伝えます。

4. 安全・安心な給食提供と食育の実践

- （1）バランスの取れた手作りの食事・おやつを提供したり、今日のメニューをディスプレイになれば保護者に見ていただきます。

5. 保育士の資質の向上

- （1）研修に積極的に参加し、自分たちの保育の振り返りを行います。

6. 保育園施設改善計画

- （1）園児の安全・衛生面から、当面の修繕の必要のある箇所を改善します。
- （2）2013年度（平成25年度）完成を目標に、新園舎建設委員会および募金委員会による準備作業を実施します。

VI. 製販事業部

(清里エリア・収1) 自家製食品および地域特産品等の普及・販売等に関する事業

(1) 売店・レストラン

キープ協会が行う様々な公益事業の安定と拡充を図るため、その経済的基盤を支えるべく安定した収益の確保を優先事項とした事業を展開します。また、「生産・収穫－加工・製造－販売・消費」一貫体制の確立を柱とする“いちばん美しい農場”プロジェクト(略称 MBF プロジェクト)”を推進します。

事業内容

- (1) 清泉寮ギフトショップ・清泉寮セレクトショップ・ジャージーハット・パン工房・キープファームショップの5店舗の運営
- (2) 複数店舗利用およびキープ内滞在時間延長の促進
- (3) 各店内ディスプレイを有効活用したインフォメーションの充実
- (4) WEB ページの管理を徹底し、広報・営業を充実
- (5) 通販事業の拡大と促進
- (6) 広報・集客の機会としての出張販売の積極参加
- (7) キープ農場有機ジャージー牛乳、乳製品の拡販
- (8) ジャージー牛乳の飲食部門における利用拡大など内部消費促進
- (9) 自社製造品をはじめ、地場産品や地域クラフト品の販売強化
- (10) 地域生産品、フェアトレード製品などの公益性のある製品の利用と販売
- (11) キープの自然環境を活かした話題の提供による誘客
- (12) 土産品・飲食メニュー・サービス形態などの商品開発業務の充実
- (13) 飲食業における「人と地球の健康」をキーワードとしたメニュー展開
- (14) お客様の満足度を高めるため、接客・サービスの向上と標準化
- (15) ランドスケープ・MBF を考慮し、景観を主眼とした環境整備
- (16) 購買の一元化による効率的な仕入管理
- (17) POS システムの有効利用による仕入・在庫管理
- (18) 業務の効率化によるコスト削減
- (19) 中長期計画に則った、職員教育と人材育成
- (20) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化
- (21) 年間の業務平坦化を目指し、冬期集客により安定的な人員配置
- (22) MBF プロジェクトの考え方に基づいた事業展開
- (23) ジャージーハット建て替え計画
- (24) 乳製品製造施設(ミルクプラント)建設計画
- (25) 自社製造施設(キープファクトリー)建設計画

Ⅶ. 管理本部

豊かな自然に恵まれたキープ協会の管理敷地（県有地）の総合的な維持管理のための計画を立て、敷地内の適正管理に努めます。

また、トップマネジメントと現場とをつなぐ全体のコミュニケーション管理と、全体の事業のサポートを行ってまいります。

1. 総務部

(1) 総務、人事、労務管理、職員食堂

2. 経理部

(1) 経理、出納、財務、資金繰り、予算、決算

3. 施設部

(1) 施設管理、環境整備

4. 広報部

(1) K E E Pの活動を多くの人に知ってもらい、事業運営のための寄付を募ることを目的に広報を行います。

(2) K E E Pを知っている人を対象に、K E E Pのプログラム参加等の情報発信を行います。

(3) K E E Pを知らない一般の人たちに、活動や利用促進を図るための情報提供を行います。

(4) K E E P内のコミュニケーションを充実させ、スタッフがより一層情報を共有できるようにします。

a. 情報発信

(外部)

・ホームページは各部がイベント・宿泊情報を提供していますが、広報部が全体をフォローします。

・K E E Pのメールマガジンを毎月2回程度発行、配信します。

・テレビ、雑誌等のメディア対応を行い、K E E PをPRします。

(内部)

・K E E P週報を発行します。各部からの情報を得てコミュニケーションを充実させます。

・ポール・ラッシュ記念センター、清泉寮新館・本館レストラン、ジャージーハット、八ヶ岳自然ふれあいセンター、やまねミュージアム、自然歩道を紹介する「清泉寮エリアマップ」を配布して、宿泊客や日帰り観光客に情報を提供することで、リピーターにつなげます。

・K E E Pの情報誌発行及び案内表示を充実させます。

b. 具体的計画

- ・簡易版KEEP総合パンフレットの制作 カラー4ページ2000部
- ・KEEP内の案内看板改修
- ・KEEP情報誌（キープだより）の発行 年間2回 3000部
- ・年間マーケティング調査、エコツーリズム、観光振興、各種プロモーション

5. その他の業務・組織

- (1) ISO事務局（内部監査体制）および、環境マネジメントプログラムの推進。
- (2) 危機管理計画および消防防災計画・大規模地震防災計画（自衛防災チーム）。
- (3) 情報システム構築・維持。
- (4) 事務処理システムの企画・開発。
- (5) 経理システムの構築。

6. ランドスケープPJT室

- (1) 県有地であるキープ協会の敷地全体の総合管理計画を立て適正管理に努めます。

VIII. 清里聖アンデレ教会

日本聖公会横浜教区の一教会としての働きと同時に、
キリスト教の精神に基づき設立されたキープ協会の精神的拠点としての働きをします。

平成24年度(2012年度) 財団法人キープ協会 一般会計収支予算(案) 合計表

収支決算	収入	事業費①	人件費②	管理費③	支出計①～③	部門損益	減価償却費	支出計	損益	キャッシュフロー
清泉寮	458,135	67,927	143,135	189,980	401,042	57,093	121,200	522,242	-64,107	57,093
ポール・ラッシュ記念館	2,983	0	7,855	3,784	11,639	-8,656	1,680	13,319	-10,336	-8,656
自然学校	110,200	15,358	47,770	32,764	95,892	14,308	7,200	103,092	7,108	14,308
環境教育事業部	80,695	2,640	42,288	18,047	62,975	17,720	720	63,695	17,000	17,720
八ヶ岳自然ふれあいセンター	35,238	0	20,887	12,851	33,738	1,500	840	34,578	660	1,500
那須平成の森	70,544	1,098	43,450	24,404	68,952	1,592	1,502	70,454	90	1,592
農場	60,990	6,500	27,890	17,330	51,720	9,270	8,000	59,720	1,270	9,270
国際部	55,000	6,000	49,080	21,060	76,140	-21,140	4,440	80,580	-25,580	-21,140
聖ヨハネ保育園	60,110	7,720	49,200	3,190	60,110	0	7,700	67,810	-7,700	0
製販事業部	595,000	247,745	115,828	61,590	425,163	169,837	9,000	434,163	160,837	169,837
本部	3,080	0	72,580	49,210	121,790	-118,710	8,040	129,830	-126,750	-118,710
合計	1,531,975	354,988	619,963	434,210	1,409,161	122,814	170,322	1,579,483	-47,508	122,814
経費/収入 比率		23.2%	40.5%	28.3%						

	収入	事業費	人件費	管理費	支出計	収支差額	支出計	損益	キャッシュフロー
2011年度予算	1,441,900	339,666	603,733	407,833	1,351,232	90,668	1,519,002	-77,102	90,668
比較増減	90,075	15,322	16,230	26,377	57,929	32,146	60,481	29,594	32,146

取入の部	合計	清泉寮	自然学校	PRMC	研修交流計	環境教育	ふれぞん	那須	環遊計	農場	園地地域	保音園	製販	本部	中期計画値	差額
収入の部	283,040	228,440	40,600	0	289,040	0	0	0	0	0	14,000	0	0	0		
償却収入	358,434	219,734	54,400	0	274,134	0	0	0	0	0	25,000	0	59,300	0		
食費収入	376,614	6,006	500	503	7,009	4,000	0	1,525	5,525	2,500	3,980	0	357,600	0		
売店収入	178,100	2,155	13,000	0	0	64,600	0	12,838	77,438	20,000	2,400	0	178,100	0		
ソフトクリーム収入	114,993	1,500	0	0	16,155	0	0	0	0	1,500	0	0	0	0		
生乳卸収入	34,990	600	700	0	1,300	0	0	0	0	34,990	480	0	0	0		
生乳収入	1,780	1,200	1,000	0	2,200	190	0	0	190	0	480	0	0	0		
雑収入	5,690	9,450	0	0	0	5,400	0	0	5,400	2,000	1,750	0	0	0		
補助金・助成金収入	150,189	1,500	2,480	2,480	2,480	5,500	35,238	56,181	91,419	0	3,560	55,210	0	0		
委託収入	5,855	3,100	0	0	0	1,005	0	0	1,005	0	3,350	0	0	0		
寄付金収入	260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
利息収入	3,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	1,531,975	458,135	110,200	2,983	571,318	80,695	35,238	70,544	186,477	60,990	55,000	60,110	595,000	3,080	1,474,671	17,304
原価費	3,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
額外購入費	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
乳牛諸費	203,772	4,204	350	0	4,554	2,640	0	1,098	3,738	0	330	0	195,150	0		
売店下材料費	32,040	63,723	15,008	0	78,731	0	0	0	0	0	5,670	3,800	32,040	0		
膳材料費	108,756	67,927	15,358	0	83,285	2,640	0	1,098	3,738	6,500	6,000	3,800	20,555	0		
計①	351,088	390,208	94,842	2,983	488,033	78,055	35,238	69,446	182,739	54,490	49,000	56,310	247,745	3,080	338,000	13,068
売上総利益	13,120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
役員報酬	340,876	98,540	28,635	2,763	129,938	23,714	6,402	10,092	40,208	2,880	33,900	30,200	59,000	32,000	9,240	
給料手当	46,824	14,160	4,800	540	19,500	2,784	1,200	1,500	5,484	1,600	4,920	0	9,240	5,520	0	
賞与・雑給	136,749	12,966	8,189	3,600	24,655	8,196	9,123	24,775	42,094	3,000	5,200	13,800	33,000	15,000	0	
退職引当金繰入	1,996	440	140	13	593	305	0	0	305	310	0	0	788	0		
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
法定福利費	65,101	15,068	5,283	826	21,177	5,459	2,462	4,103	12,024	2,880	4,700	5,000	11,700	7,620	0	
福利厚生費	15,297	2,061	723	113	2,897	1,830	700	2,980	5,510	1,030	360	200	2,100	3,200	0	
計②	619,963	143,195	47,170	7,855	198,760	42,288	20,887	43,450	106,625	27,890	49,080	49,200	115,828	72,580	553,430	66,533
一般管理費	45,493	28,477	3,000	0	31,477	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
委託費	4,339	96	30	0	126	250	3,905	4,571	569	0	440	600	3,000	1,500	0	
企画イベント費	4,300	0	0	0	0	300	90	229	300	0	170	50	0	0	0	
委託金	0	0	0	0	0	3,800	0	0	3,800	0	3,200	0	0	0	0	
委託金支出品費	41,657	16,020	3,794	148	19,962	400	2,155	2,790	5,345	0	1,100	1,050	13,000	1,200	0	
委託金消耗品費	2,828	469	29	29	498	450	0	0	450	600	600	0	920	360	0	
雑費	45,061	21,830	3,381	607	25,818	1,300	0	1,703	3,003	180	1,400	2,860	4,600	7,200	0	
支払手数料	23,470	6,990	1,350	75	16,441	60	0	48	108	0	0	0	5,100	510	0	
修繕費	5,867	840	170	200	1,095	400	1,513	667	2,580	6,000	1,200	300	2,850	2,000	0	
事務交際費	1,640	550	200	135	1,095	350	1,252	1,190	2,792	30	240	0	330	1,400	0	
広告宣伝費	10,364	1,728	500	150	2,378	200	530	836	1,596	200	1,400	1,400	1,800	3,220	0	
光熱・水道費	84,367	48,061	7,880	1,529	57,470	465	1,377	5	1,847	2,050	2,400	1,400	11,000	8,200	0	
電話通信費	14,566	2,552	1,750	110	4,412	840	700	894	2,434	300	500	400	3,600	3,600	0	
備品費	4,500	1,250	2,500	100	3,850	4,522	952	8,333	13,807	200	2,040	400	4,000	0	0	
印刷費	22,005	960	980	50	1,990	3,450	100	2,655	6,205	500	1,800	400	4,850	6,260	0	
旅費・交通費	3,000	6,840	540	420	7,800	540	0	0	540	4,450	3,000	0	0	0	0	
借入金	21,810	11,160	1,680	0	12,840	120	20	116	256	720	60	0	4,200	4,100	0	
借入金利息	15,006	7,594	2,500	0	10,094	360	0	0	360	30	1,200	450	550	800	0	
借入金手数料	8,194	1,920	960	240	3,120	240	257	367	864	2,000	1,200	0	840	1,200	0	
支払利息	17,977	17,977	0	0	17,977	0	0	0	0	0	0	0	950	1,260	0	
計③	438,130	189,980	32,764	3,784	226,528	18,047	12,851	24,404	55,302	17,330	21,060	7,110	61,590	49,210	394,671	43,459
支出計①②③	1,409,161	401,942	95,892	11,639	508,573	62,975	33,738	68,952	165,665	51,720	76,140	60,110	425,163	121,790	1,286,101	123,060
部門増減(収)-支出)	122,814	57,093	14,308	-8,656	62,745	17,720	1,500	1,592	20,812	9,270	-21,140	0	169,837	-18,710	0	
減価償却費(4)	170,322	121,200	7,200	1,680	130,080	720	840	1,502	3,062	8,000	4,410	7,700	9,000	8,040	182,500	7,822
支出合計①-④)	1,579,483	522,242	103,092	13,319	638,653	63,695	34,578	70,454	168,727	59,720	80,560	67,810	434,163	129,830	1,448,601	130,882
収支差額	-47,508	-64,107	7,108	-10,336	-67,335	17,000	660	90	17,750	1,270	-25,560	-7,700	160,837	-126,750	-33,930	-13,578
本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増減	-47,508	-64,107	7,108	-10,336	-67,335	17,000	660	90	17,750	1,270	-25,560	-7,700	160,837	-126,750	-33,930	-13,578
中期計画で立案した収支	-33,930	-48,200	500	-6,230	-53,930	16,300	0	0	16,300	3,900	-25,900	0	170,200	-144,500	0	
差	-13,578	-15,907	6,608	-4,106	-13,405	700	660	90	1,450	-2,630	320	-7,700	-9,363	17,750	-9,363	

注: 中計は保音園は含まない。保音園の▲7,700を除くと、来年度予算案の損益は▲39,808となり、中計との差額は▲5,878となる。

キープ協会 収支予算比較表 2012年度

単位：千円

収 入	2012年度 (案)	2011年度補正	増減(2012 - 2011)
清泉寮(PRMC含む)	461,118	423,927	37,191
自然学校	110,200	95,266	14,934
環境教育事業部	80,695	85,850	-5,155
八ヶ岳自然ふれあいセンター	35,238	35,352	-114
那須の森事業(新規事業)	70,544	52,380	18,164
農 場	60,990	56,000	4,990
製販事業部	595,000	577,432	17,568
国際地域事業部	55,000	46,122	8,878
聖ヨハネ保育園	60,110	60,977	-867
本 部	3,080	8,594	-5,514
収入合計	1,531,975	1,441,900	90,075
支 出 (減価償却費を含む)			
清泉寮(PRMC含む)	535,561	490,950	44,611
自然学校	103,092	97,989	5,103
環境教育事業部	63,695	72,410	-8,715
八ヶ岳自然ふれあいセンター	34,578	35,352	-774
那須の森事業(新規事業)	70,454	52,380	18,074
農 場	59,720	54,250	5,470
製販事業部	434,163	419,911	14,252
国際地域事業部	80,580	73,873	6,707
聖ヨハネ保育園	67,810	68,677	-867
本 部	129,830	153,210	-23,380
支出合計	1,579,483	1,519,002	60,481
損 益			
清泉寮(PRMC含む)	-74,443	-67,023	-7,420
自然学校	7,108	-2,723	9,831
環境教育事業部	17,000	13,440	3,560
八ヶ岳自然ふれあいセンター	90	0	90
那須の森事業	660	0	660
農 場	1,270	1,750	-480
製販事業部	160,837	157,521	3,316
国際地域事業部	-25,580	-27,751	2,171
聖ヨハネ保育園	-7,700	-7,700	0
本 部	-126,750	-144,616	17,866
当期損益	-47,508	-77,102	29,594

清里聖ヨハネ保育園 2012年度(平成24年度) 収支予算(案)

(山梨県提出用:旧会計基準によるもので減価償却費を計上していない)

科 目	2012年度予算	2011年度予算	増減	備考
収入の部				
運営費収入	55,210	56,500	-1,290	園児68名
雑収入	1,800	3,477	-1,677	一時預かり・主食代
取崩収入	3,100	1,000	2,100	人件費引当金取崩し
収入合計	60,110	60,977	-867	
支出の部				
職員俸給	20,400	20,400	0	職員8名
職員諸手当	9,800	10,700	-900	
賃金	13,800	12,577	1,223	臨時4名+小西
法定福利費	5,000	5,200	-200	
厚生経費	200	200	0	
人件費計	49,200	49,077	123	
旅費	400	500	-100	
一般物品費	250	360	-110	
固定資産物品費	0	0	0	
印刷製本費	100	110	-10	
光熱水費事務費	200	300	-100	
会議費	50	50	0	
修繕費	300	300	0	
役務費	600	600	0	
借料損料	450	530	-80	
事務雑費	840	840	0	
管理費計	3,190	3,590	-400	
給食費	3,800	4,000	-200	
保健衛生費	300	360	-60	
保育材料費	600	700	-100	
水道光熱費事業費	1,200	1,200	0	
炊具食器費	100	100	0	
事業雑費	1,720	1,950	-230	
予備費	0	0	0	
事業費合計	7,720	8,310	-590	
支出合計	60,110	60,977	-867	
収支差額	0	0	0	

